

月のことば (681)

あるおばあちゃんの中陰法要の折に、小学生のお孫さん達がお参りしてくれた。日頃、気のつかないような、私の心の隅々まで照らしてくださる阿弥陀さまの光明をお話しようと思ひ、子ども達に、「光といえはどんな光を思ひますか。」と尋ねてみた。

子ども達は、「太陽の光・月の光・蛍光灯の光・ローソクの光」と、それぞれ答えてくれた。小学校二年生のさつちゃんは、「涙」と答えた。想像外の答えにビックリして、「どうして」と尋ねると「涙は光る」と言った。

さつちゃんの答えを聞いて、「悲しくて苦しくて泣きたい時、一緒に涙を流してくださる方が如来さまだ。」と話すと、「すごい」と返事があつた。ありがたいはたらきの中に共につまれているのだつた。

み法のりを信じる人は

尊敬あたいに値する



秋季彼岸会法要 9月23日(火・祝日) 午後2時

講師: 内藤 知康 師 是非ご家族揃ってお参りください。